



【写真左上】アンコンシャスバイアスに気づこう！
【写真左下】キャラクターイラスト「手足の描き方」

【写真右上】βカロテンの抽出・分離・定性分析
【写真右下】財政の力で未来の日本を救え！

自身の将来に向けたビジョンと技能を培う GSP

今月は、自分の人生や未来の社会について想起することができる講座が存在感を示していました。普段の授業の中では学びを今後の人生でどう生かすか、社会にどうやって貢献するのかといったことをなかなか考えることができませんが、GSP ではそれができます。講師からの教えをきっかけに他者と協力してアイデアを出し合う中で、これまで気づけなかった自分の内面性に触れ、視野を広げることができるのが GSP の良いところです。

【GSP を受講した生徒の感想】

◇今の日本がどれほど苦しい状況に置かれているか、財政の項目の管理がいかに難しいかよくわかった。税金の各項目を増減させる議論では、それによって良い点はもちろん生まれるが、悪い点も同時に生まれてしまうという問題にぶつかってしまったのでとても難しかった。ただ、そのことで社会に関心を持ち、選挙の大切さも分かったのでとても良い講座だった。【財政の力で未来の日本を救え！】

◇今まで国際関係学の領域について、国と国の関係を学ぶイメージしかなかったけれど、各国の国内情勢や異文化理解のことも学ぶことができるということがわかった。また、目に見る暴力(戦争やテロなど)だけに注目していたが、目に見えない暴力(差別や難民など)にも目を配るべきだと気付かされた。

【国際関係を学んでみませんか】

◇薬学部に入るのがどれだけ困難なことなのかを改めて知り、さらに興味が湧いた。「目指す」が「絶対になる」になった。面白かった！というのもあるが、一番は講師の人の説明がすごくわかりやすかった。薬学部に入ってから学部の雰囲気や科目、入る前の学費や設備からどう志望校を決めるべきか、薬剤師の研修ではどういったことをするのか、端から端まで多くのことを教えていただいた。この度は、本当にありがとうございました。

【薬学部での学びと薬剤師として働くということ】

【今月の注目講座】

“3D”CAD で設計の疑似体験

これまでにも GSP ではいろいろな「本物」に触れる機会を準備してきましたが、この講座もまぎれもない「本物」と出会える場でした。プロの建築士やデザイナーが使用する端末が生徒一人ひとりに貸与されるとともに、11 名もの建築士と CAD のソフトメーカーの担当者から指導を受けるという恵まれた環境下で講座が展開されたのです。

この講座には受験に向けて日夜勉強に励んでいる 3 年生も参加しており、「この GSP に参加して将来の見通しが立った気がしました。パソコンでの設計は自分がやってみたかったことなので、それを高校生時に体験させてもらえてすごく嬉しくて、特別な経験になりました」という感想を残してくれました。このような頑張る星稜生のために協力してくる外部講師の方々に、改めて感謝の意を表したいと思います。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 5 号

2024 年 10 月 19 日

